



ガーデニング

# 【春を呼ぶ梅】



早春を告げる梅の花。馥郁たる香りと美しい姿が、寒さに凍えた人の心を溶かしてくれます。実を収穫することも魅力の一つ。盆栽、鉢植え、地植えと、様々に楽しめます。

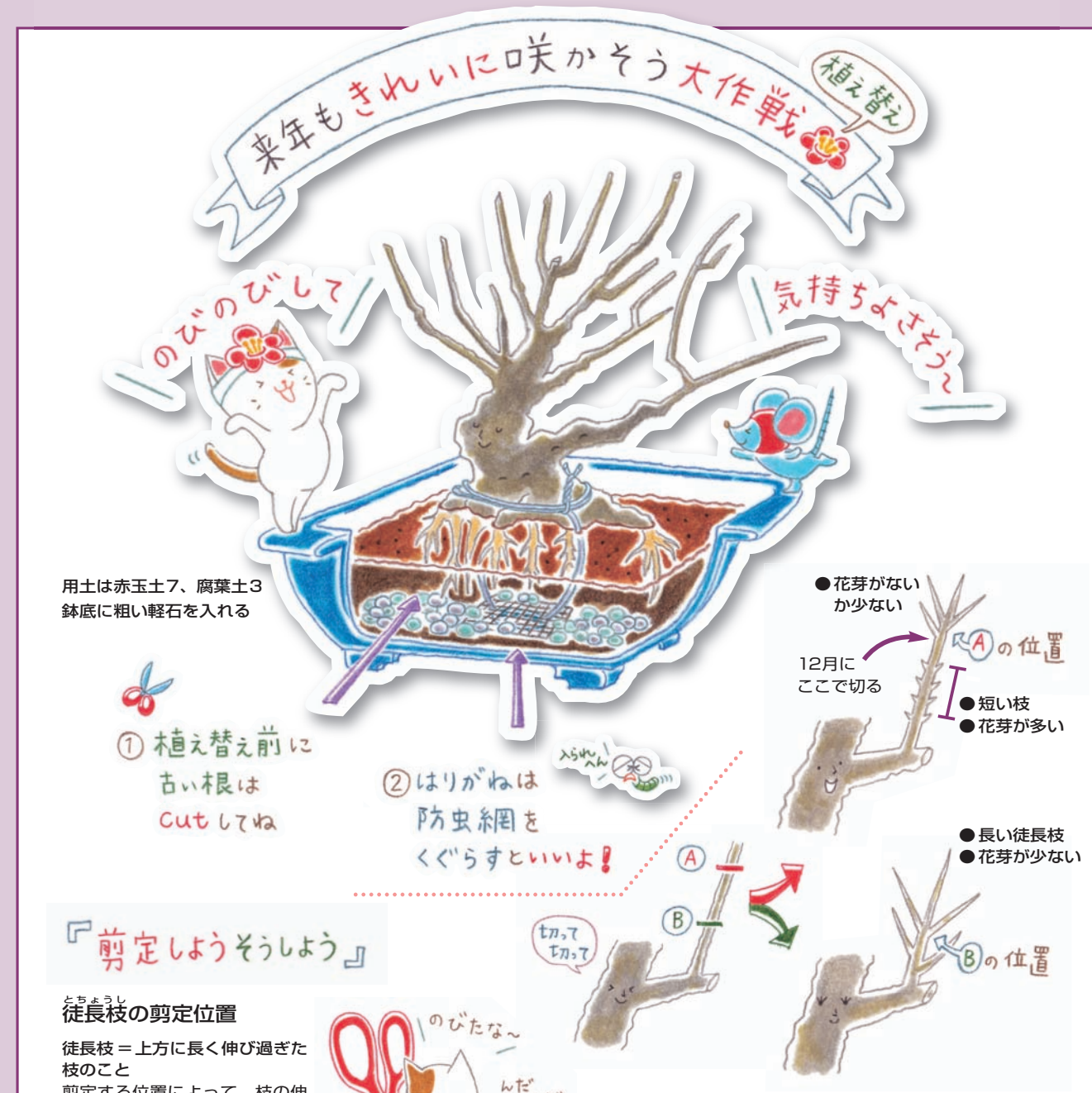
写真協力 / ガーデニングショップ「金久」神藤知治

**【苗選び】**  
 苗木が出回り始める12月が最も品種が豊富。●病虫害がついていない ●接ぎ木個所がしっかり巻き込んで いる ●細根が多い ●しっかりとした芽が付いているものを選びます。

**【植え付け】**  
 厳寒期の1月を除き、12〜3月の落葉期に植え付け可能。遅く植えると芽が膨らんで落ちやすくなります。また、2月中〜下旬に根が活動を始めるため、遅くなるほど生育が悪くなります。早めに植え付けましょう。用土の割合は赤玉土7・腐葉土3。固形肥料を3〜5月に月1度施します。

**【美しい姿を保つ剪定】**  
 梅は新しい枝葉を盛んに伸ばして成長するので、一定の大きさや形を保つために剪定が欠かせません。花が付く枝を残すように、花芽や葉芽を確かめながら行いましょう。

適期は年に数度ありますが、毎回行う必要はありません。各時期のポイント、  
 トは、  
 花後⇒新しい梢こぼれ芽が良く伸びるように枝を整理  
 5月⇒新しい梢が込み合わないよう  
 に芽かき  
 夏⇒日当たりを良くするため、込



用土は赤玉土7、腐葉土3  
 鉢底に粗い軽石を入れる

① 植え替え前に  
 古い根は  
 cutしてね

② はりがねは  
 防虫網を  
 くぐらすといいよ!

## 『剪定しようしよう』

**徒長枝の剪定位置**  
 徒長枝 = 上方に長く伸び過ぎた枝のこと  
 剪定する位置によって、枝の伸び具合や花芽の付き方が異なります。目的に合った位置で切りましょう

**だ枝を整理**  
 12月⇒花芽が付いていない枝を切る  
**【鉢植えの植え替え】**  
 長い間植えたままでは、鉢の中で根詰まりを起こします。3〜5年に1度は植え替えを。適期は花が終わった直後。伸び過ぎた根は切ってリフレッシュ。鉢が浅くぐらつく場合は、鉢底から針金を通して、木を鉢に固定します。植え替え後は、当分、土が乾かないように軒下などに置きます。